

教科名		情報	科目名	情報	単位数	2
教科書等		高校 社会と情報 (実教出版)		教材等	社会と情報 プリント教材 (実教出版) 社会と情報 ワークシート (実教出版)	
目標		高度情報化社会に対応した人材を育成するために、情報の収集・分析から発信までを総合的に学ぶ。高校生の実態は多様化している一方で、情報及び情報機器等の活用が社会生活に必要な基盤として発展する中、これらを活用して高い付加価値を創造することができる人材の育成をする。				
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
観点の趣旨		情動的な事物・知識に関心、をもち、意欲的に自ら学習する姿勢・態度を身につけようとしているか。	情報社会、知的な財産についての知識などから、一般的倫理的な思考判断がされているか。	課題を作成し提出するなかで機器を正確に使用し、目的を達成できるか。	情報社会やメディア、ネットワークなど、これから情報社会に携わって行くなかに必要な知識を正確に理解されているか。	
評価方法	定期/到達度テスト		○	○	○	
	課題	○	○	○	○	
	学習状況・小テスト	○			○	
学期	月	単元内容 (単元名)		具体的な学習内容		
前期 後期	4	第1章		<ul style="list-style-type: none"> ・情報と知識について学び、情報社会の特徴について考えることで私たちへの影響や変化、また私たち個人の責任を始めに学ぶ。 ・メディアの意味と特徴、メリットとデメリット、情報の信憑性について正確に理解し学ぶことで、情報を批判的にとらえることを学ぶ。 ・コミュニケーションを取るための様々な手段について学び、インターネットを使い電子メールの利用を学んでいく。課題をインターネットで調べて作成し、電子メールを使って提出させるなどすることで実際にネットワークに触れていく。その中でインターネットの仕組みやルール、マナーなどを学ぶ。 ・インターネットを使って行われている様々なコミュニケーションの発展や利便性を学ぶ。 ・不正行為を防ぐ情報セキュリティ、個人情報を守るためのアクセス制限、暗号化など安全対策に使われている様々な情報技術について学び、活用できるようにする。 ・情報社会で曖昧になりがちな知的な財産に対する取り決め、私たちが他人の著作物を利用する時のルールについて学ぶ。 		
	5	1. 情報と情報社会				
	6	2. 社会の変化と個人の責任				
		3. 情報社会の問題				
		4. メディアとその特徴				
		5. メディアと広告				
		6. メディアの選択				
		7. 個人情報とその保護				
	7	第2章 コミュニケーション				
	9	1. コミュニケーション				
	10	2. メールの利用				
	11	3. ネットワーク				
12	4. 共通の取り決め					
	5. インターネットの仕組み					
	6. Web 閲覧とメールの仕組み					
	7. インターネットのサービス					
	8. 合意形成					
	9. クラウドコンピューティング					
1	第3章 情報安全					
2	1. 個人による安全対策					
3	2. 組織による安全対策					
	3. 安全のための情報技術					
	4. 暗号化					
	5. 法規による安全対策					
	6. 知的財産権の概要と産業財産権					
	7. 著作権					
	8. 著作物の利用					